

校内研修

主体的に考え、対話的に学んでいく生徒の育成



— 学校図書館を活用した課題解決的な
学習過程の充実を通して —

昭和村立昭和中学校

1 本校の実態

(1) 研修の実態

平成28年度 校内研修「効果的な言語活動の活用」(他教科)

2本立て

+

「図書館を活用した授業実践」
(国語、社会、理科)

学校全体で計画的にやるべき!

平成29年度 校内研修「図書館を活用した授業実践」(全職員)

ただ本を使うのではなく、

課題解決的な学習において、**主体的に考え、対話的に学ぶために**使う!

(2) 図書館活用の実態

28年度当初 意図的・計画的に図書館機能や書籍を
活用した実践経験者は全くいなかった。

図書よりインターネット
のほうが使いやすい!

授業で使える本は
あるの?

国語科でやれば
いい・・・。

効果はあるのか?

(3) 生徒の実態

① 学び方

- 全体的に素直であるが、個人差が大きい。
- 指示や課題をまっ受け身型の生徒が多い。

② 図書館の活用

- 図書館の利用に個人差がある。
- 学習と図書が結びついていない。

生徒にもっと自主的、対話的に学ばせたい！！

自主的に本を活用してほしい！

2 実践の概要

【学校図書館を活用した授業づくり】

図書年間指導計画の作成

情報リテラシー計画の作成

校内研修
(一人1授業)

授業で使えるような資料収集
(県立図書館・近隣図書館との連携)

図書館事務員との連携

校内研修便りの発行

教員用図書便りの発行

土台

【生徒が自ら本を手にする図書館づくり】

図書館の環境整備

朝の図書館読書

図書館新聞の発行

ビブリオバトル

朝・昼休みの貸出

(1) 生徒が自ら本を手にする 図書館づくり



① 図書館の環境整備

本棚の少ない第1図書室



荷物置き場となっていた
第2図書室



第1図書室（読み物）

分かりやすく、興味を引く掲示。
居心地のよい場所へ。



第2図書室（調べ物）

授業の調べ学習で使う本を中心に配置



②生徒に本を手にとらせるための工夫

★興味を引く掲示

★図書館での朝読書



「朝図書館に行くようになってから、本を借りるようになりました。」

★委員会の活性化

合い言葉は『みんなで創る図書館プロジェクト』



掲示の工夫



図書新聞の発行

イベントの実施



★他教科との連携

←図書館の本の紹介を理科の教員が書き、理科室に掲示

学活で紹介された本のコーナーを設置。

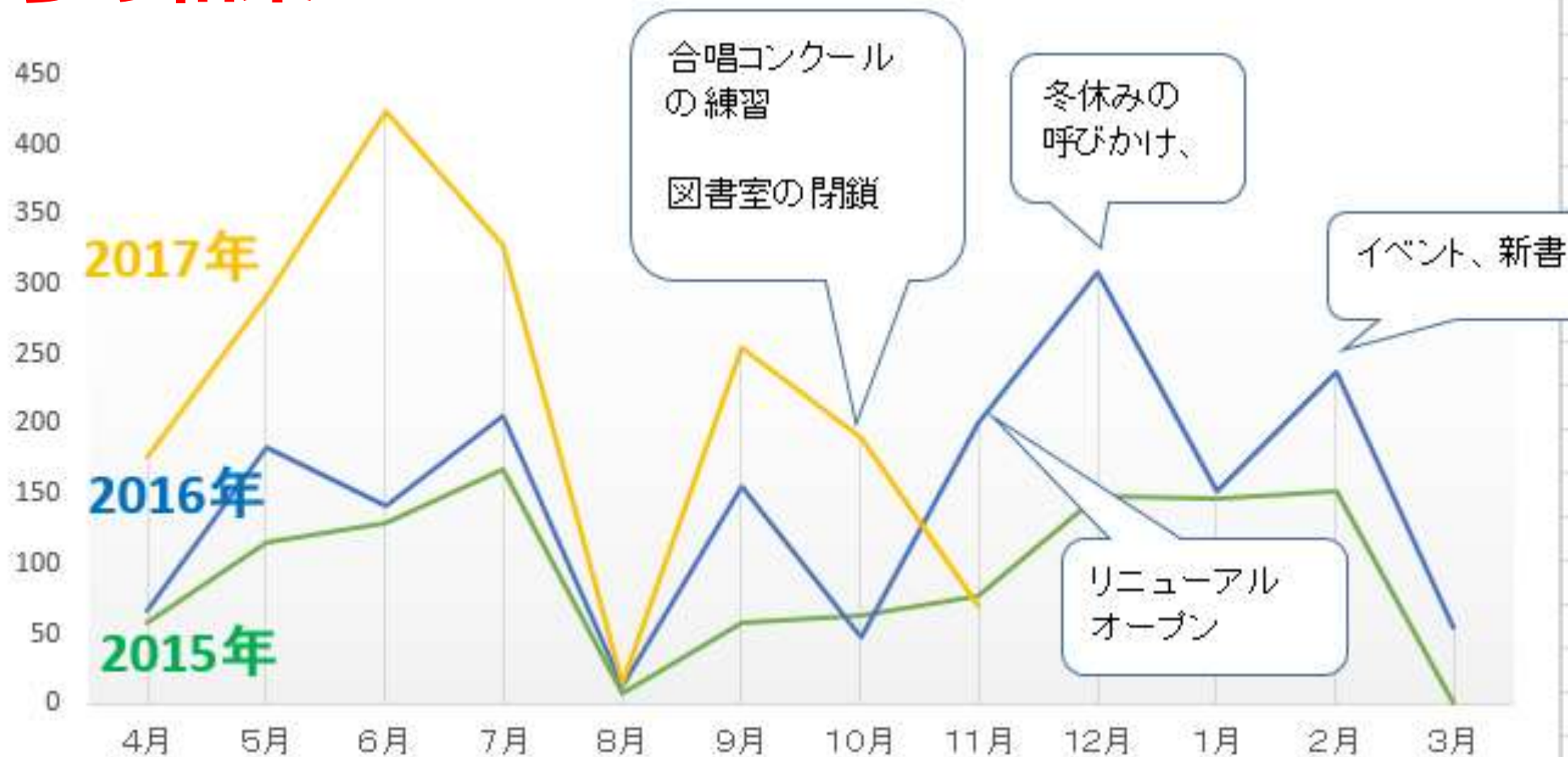


理科担当と連携して、化石コーナーを設置。(石も)



これらの結果...

図書月別貸出冊数



図書館の利用者数が大幅に増え、生徒が図書館を利用するのが**当たり前**になってきた。

(2) 学校図書館を活用した 授業づくり



①

計画的な取り組み

★年間指導計画★

図書館活用年間計画表（年計への位置付け）

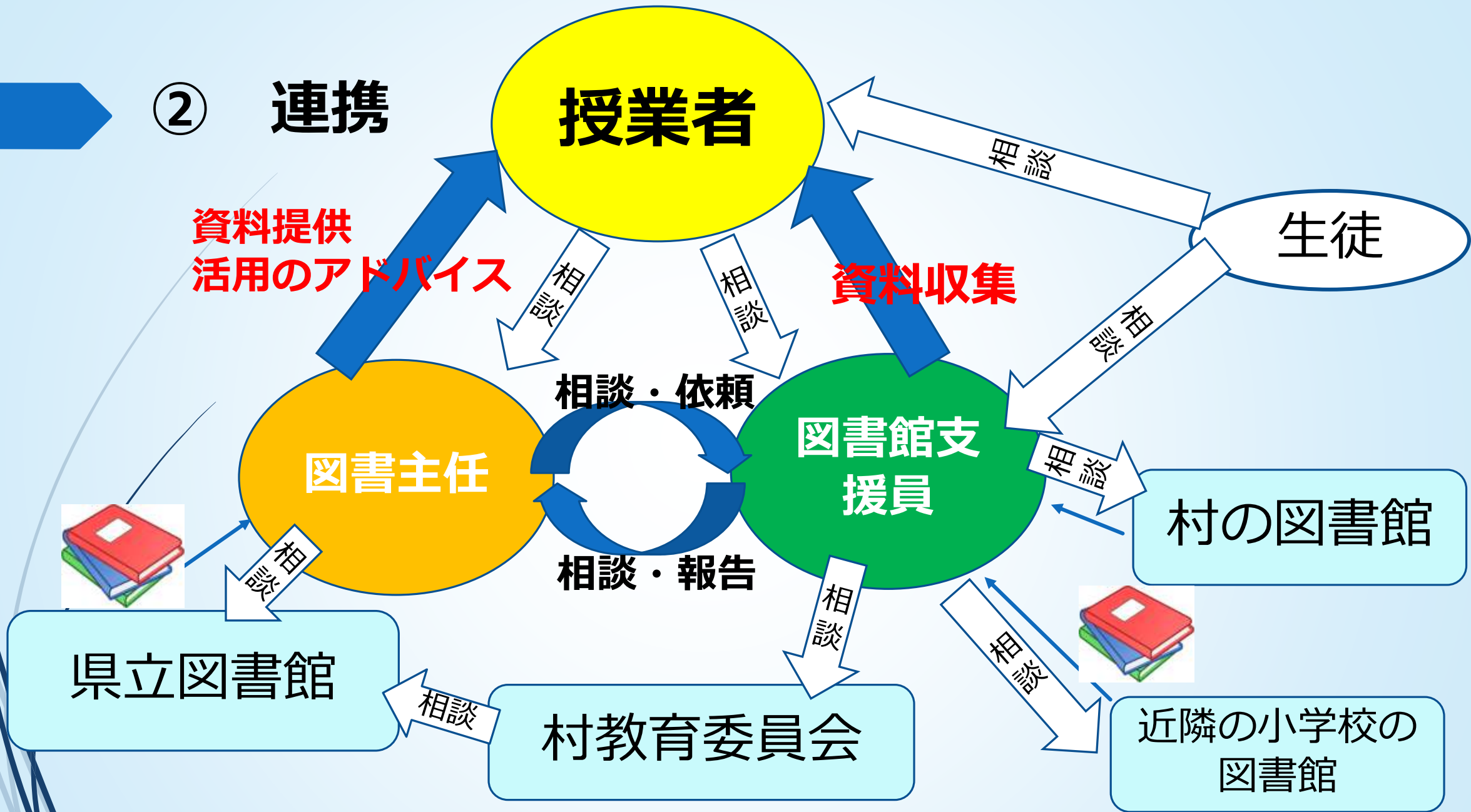
は県立図書館の貸出用の本です。

	国語	社会	
第1 半年 年	<p>○6月 各単元での読物の進捗調べ（国際理解）</p> <p>○4月 『朝の川〜』巻の道草で描かれた神々の本を参照。</p> <p>○6月 『調べたことを整理して、わかりやすく』レポートの資料集め</p> <p>○7月 『動物の心』を思い出し、自分の好きな本を紹介する。</p> <p>○10月 『古典に学ぶ』『竹取物語』時代背景を調べる。関連する資料を調べる。 『故事成語』 故事成語を調べる。</p> <p>○1月 『多岐的な視点で作品を読み解く』いろいろな視点の作品を読み解く。</p> <p>○2月 『この小さな地球の上で』 天候を知る。地理的側面について情報収集する。</p>	<p>谷川俊太郎の本『朝』 神の本（巻末）</p> <p>百科事典 第2巻 4 百科事典A 37冊 5 百科事典B 50冊</p> <p>『竹取物語』 2冊</p> <p>『故事成語』 関係 9冊</p> <p>国策の本 多数</p> <p>環境の本 多数 手塚治虫の本 多数</p>	<p>○5月 【地理】 『世界のさまざまな生活と環境』 各気候帯の地域の人々の生活の様子を本で調べる</p> <p>冊なし</p> <p>1 9 国際理解A 37冊 2 0 国際理解B 50冊</p> <p>○6月 【歴史】 『世界の古代文明と宗教のおこり』 古代文明や宗教に関する資料を調べ、当時の様子をつかむ。</p> <p>『なぞ不思議ワールド古代文明・神話のなぞふしぎ 第2Ⅱ』 『国際理解に役立つよくわかる世界の宗教 キリスト教』 『国際理解に役立つよくわかる世界の宗教 ユダヤ教』 『国際理解に役立つよくわかる世界の宗教 ヒンズー教』 『国際理解に役立つよくわかる世界の宗教 シク教』 『国際理解に役立つよくわかる世界の宗教 仏教』</p>
	<p>○6月 各単元での読物の進捗調べ（国際理解）</p> <p>○4月 『さつげんたぬ』 自分の好きな本を紹介する。</p> <p>○9月 『漱石』</p> <p>○10月 『平家物語』 源平の争いに関する本を参考に時代背景を調べる。</p> <p>○11月 『詩』</p>	<p>古本の本</p> <p>神の本</p>	<p>○6月 【地理】 『世界と比べた日本の地理的特色』 ・自然災害と防災について、関連する資料を調べ、対策を考える。 ・世界の資源やエネルギー問題について資料を調べ、再生可能エネルギーの特色を知る。</p> <p>『日本の災害史 火山噴火』 『日本の災害史 地震・津波』 第2巻 『日本の災害史 気象』 『世界と日本のエネルギー問題』 2セット</p> <p>○10月～11月 近畿</p> <p>『近畿に関する本』（テーマ毎に配架） 多数 第2巻</p> <p>○1月 【歴史】 『開国と近代日本の歩み』 明治維新と神皇正統記について調べるとともに、富岡製糸場について資料からまとめ、日本の近代化について知る。</p> <p>『富岡製糸（漫画）』 5冊 『富岡製糸 絹の国ぐんま』 30冊 第1巻</p>
第2 半年 年	<p>○6月 各単元での読物の進捗調べ（国際理解）</p> <p>○4月 『水のはろひ』</p>	<p>○10月 【公民】 第3章 現代の民主政治と社会 国の政治の課題について新聞やインターネットを通じ、資料を収集させ、比較や話し合いなどを通して、多面的・多角的に考</p>	<p>6 0 政治 19冊</p>

★メディアリテラシー指導計画★

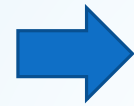
	Ⅱメディアの使い方	Ⅲ活用の仕方	Ⅳまとめ方
<p>○学習方法を考える。</p> <p>○情報メディアの種類や特性を知る。</p> <p>○図書館の役割を知る。 ～図書館オリエンテーション～</p>	<p>Ⅱ-① 図書館、図書資料・インターネットの利用の仕方を知り、活用している。</p> <p>授業で習得するスキル</p> <p>○図書館の利用の仕方 [4月:国語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類の仕組み ・配架の仕組み ・利用の仕方 <p>○メディアの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考図書 ・国語辞典・漢和辞典 ・ことわざ辞典 [国語] ・新聞・雑誌 [国語] ・コンピューター [技術] <p>Ⅱ-② 図書館、図書資料・インターネット等を自分の目的に合わせて活用している。</p> <p>授業で習得するスキル</p> <p>○図書館の利用の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目録の種類 ・パソコンサービス 	<p>Ⅲ-① 課題の設定や情報収集、整理分類の仕方を知り、活用している。</p> <p>授業で習得するスキル</p> <p>○課題の設定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップ(発想シート) ・マトリクス [5月:国語レポート] <p>○図書資料の情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報カード(引用と要約)[国語レポート] ・百科事典の特徴と調べ方 <p>○整理・分析の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グルーピング ・ラベリング[国語レポート] ・ナンバリング ・図式化 ・三角ロジック(論理的に) [10月国語:玄関扉] <p>○インターネットの検索の仕方</p> <p>○情報モラル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権、参考文献の書き方、引用の方法等 ・情報の吟味 <p>Ⅲ-② 有効な情報収集の仕方や整理の仕方を知り、活用している。</p> <p>授業で習得するスキル</p> <p>○課題の設定の方法 [7月:国語プレゼンテーション]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミング 	<p>Ⅳ-① まとめ方やその方法を知り、まとめている。</p> <p>授業で習得するスキル</p> <p>○レポートの書き方[5月:国語レポート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章を書く <p>○意見文の書き方[2月:国語意見文]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張といくつかの根拠をつなげる <p>○新聞の書き方[3月:国語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逆三角形型 <p>Ⅳ-② プレゼンテーションの仕方を知り、自分の目的に合わせてまとめている。</p> <p>授業で習得するスキル</p> <p>○プレゼンテーションの仕方 [国語]</p>
中 1		<p>★課題解決のプロセス(この中でつけた力)</p> <p>○課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを絞る ・テーマを広げる ・テーマをまとめる <p>○情報を集める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ方を知る ・百科事典を使う ・キーワードを選択 ・情報の特長の理解 	<p>★まとめ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・論文 ・新聞 ・模造紙 ・パワーポイント ・スピーチ <p>★まとめを補助する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピラミットチャート ・原稿用紙の書き方 ・レジメの作り方 ・設計図

② 連携



③ 活用方法

関心を高める



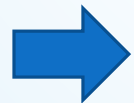
英語 (“行ってみたい”“食べてみたい”から、話したいと思わせる)
理科 (宇宙の学習をする前に、疑問に思っていることを調べる)

考えを深める



保健体育 (教科書には載っていない、防災対策について知る)
理科 (体について学習した後で、発展した疑問を解決する)

学習を身近にする



社会 (村の防災対策を知り、他の自治体と比べる)
学活 (色々なジャンルの本に触れ、読書を身近に)
国語 (故事成語を勉強した後に、生活での使い方を知る)

④ 活用における留意点

★調べる必要感のある課題を設定する

仮説をたてる



グループで本を囲んで
比べる・選ぶ・まとめる

★提供する資料を精選する

1班に2～3冊程度で、
困んで相談できるように！

付箋を活用して時間や調
べるレベルを調整

追加資料
コーナー



★あくまで教科のねらいに迫る手立てにすること

調べることに時間を使い過ぎない

活動の目的を明確に、シンプルにする

3 まとめ

(1) 生徒の実際

11月13日のアンケートより

- ・1冊も読んでない生徒が極端に減った。
- ・図書を学習で使う良さについて以下のような感想を持っている。

正しいことが書いてあり、確かな情報が得られる。(1年生)

本を使うとその事だけでなくみているうちに他の事も覚えられる。(2年生)

たくさんの情報を色々な視点から知ることができる。(2年生)

調べるのに時間がかかるので、ゆっくりと頭に入れて、覚えやすい。(3年生)

ずっと見ていられる。証拠になる。(3年生)

簡単に分かりやすくかかっているものもあれば、難しく書いてある本もあるから、自分のレベルに合わせられる。(3年生)

(2) 教員の実感

11月13日のアンケートより

- ・ 図書館を授業で活用することについて、ほとんどの教員が効果的であると答えた。

興味、関心が高まり、自分で解決しようという姿が見られるようになった。

読解力や比較したり、まとめたりする力をつけられる。

生徒と図書館の距離が近くなり、活用することが普通になった。

情報の信頼性が高く、よくまとめられているため、中学生には使いやすい！

協働的で対話的な学びが必然的に生まれる。

(3) これからの図書館活用について

- 教科によっては、まだ有効性がわからないものもある。



**授業のねらいをよく吟味し、図書館活用が効果的な教科・単元で、年に1回または教科で1回など計画的に活用していく。
(そのことで準備の負担も軽くなる)**

調べたり、比較検討したり、まとめたりする力の指導を計画的に行っていく。